



市民力 結集!

実績と行動力のリーダーと 危機的 行財政問題を解決しよう!

市役所問題決着は、
行財政問題解決
の突破口

6つの施設を新市役所に集約し
改修費と維持管理費削減。

さらに

財政破綻

施設崩壊

魅力喪失

小金井
の危機!

未来を確かにする
新庁舎ビジョン&
行財政改革

市民と
一緒につくる
小金井ビジョン

迷走
市役所

先送り、
その場しのぎ

先取り
未来づくりへ

財政問題解消ビジョンで確かな未来に

詳しくは
こちら →



緊急40億円対策

小金井市の平成26年度経常収支比率は94.5%。この数値は人件費や市の借金を返すなど固定経費率ですから、新規政策に使える予算が少なく、子育て支援、高齢者対策、まちづくりが進まない原因です。

さらに今後、学校などの公共施設と下水道などのインフラの維持改修だけで、年46億円も必要とされており（『小金井市公共施設白書』より）、収増、経費削減、不要事業廃止で40億円規模の財源確保が急務です。

まず市役所がやるべきことは、協働や民間が効果的な事業を洗い出し職員削減を進め、まちづくりなどで収増を増やすことです。

また、現在の要求をベースとした予算の作り方は時代遅れです。収増が伸びていた時代のものですから、収増に見合った総枠を決め部署ごとに不要な経費を削り財源を生み出す枠配分方式も必要です。

【具体策】

- ①まちづくりなどによる収増確保
- ②職員適性配置による人件費削減
- ③市職員削減
- ④全事業の見直し
- ⑤CoCoバス等の収益改善
- ⑥枠配分方式予算
- ⑦徴税率向上
- ⑧ジェネリック薬品による医療費対策…etc



戦略的オンリーワンの経営改革

必要なのは経営体質改善です。「先送り」「場当たり的」「他市横並び」では、懸案事項が解決できません。その象徴が市役所問題です。

今後、小金井市は人口及び収増は横ばいから減少に転じ、高齢者が急増します。小金井市の収増は個人市民税が中心ですから人口が減れば収増は減り、さらに財政は悪化します。新規住

民に来てもらえるかの都市間競争が現実です。だから、小金井の魅力アップ、子ども施策が優先です。

そのためには財源を生み出し、効果的効率的に政策を推進できる小金井らしい「先取り、戦略的オンリーワンの経営改革」を進めなければなりません。

【具体策】

- ①市財政の「見える化」「情報公開」
- ②将来のニーズ・リスクを明確にした上での経営計画作成
- ③迅速な意思決定と実行体制となる経営会議設置
- ④子ども未来基金創設…etc



市民協働と市役所活性化

経営改革は、市民と市職員に掛かっています。小金井の市民力は高く、素晴らしい活動をされている方がとても多いです。その力をもっと活かすこと、市民と市が対等になる協働の仕組みを整えることでオンリーワンも実現できます。市民討議会で新規事業をつくりだすことや各事業を見直しも必要です。

市役所職員には、しっかりした考えを持ち、地域のために働く職員もいます。そうした職員がもっと力を発揮し、もっと地域に出て、市民と一緒に働く職員を増やす組織改革、意識改革も必要です。

【具体策】

- ①目的を明確にした市内プロジェクトチーム設置
- ②民間企業も含む幅広い人事交流・派遣研修、実践的な研修制度確立による市役所活性化
- ③民間有識者によるシンクタンクとして経営懇談会（仮称）設置
- ④政策立案から実行までを担うドゥタンク、市民協働センター（仮称）設置
- ⑤プロポーザル型市民事業の募集
- ⑥屋根貸しなど市民共同発電所で再エネ普及…etc

確かな未来へ！ あなたの一票を実績と行動力の市長候補へ

小金井市をもっといいまちへ!

市民と一緒に作った
小金井政策集

1 子育て環境日本一の小金井

- ▶ 保育園待機児童ゼロの早期実現と質も高める。
(0~2歳児対策強化)
- ▶ 教育委員会と市長部局の連携により、0歳から中学校卒業まで切れ目のないサポート体制をつくる。
- ▶ 農家と連携し食育を推進。学校給食へ地場野菜を活用。
- ▶ 先輩ママによるホームスタートやパパも参加しての子育て交流会実施で子育ての不安解消と地域コミュニティ活性化。
- ▶ 地域も参加する学校教育の充実。
- ▶ 学童保育の待機児童ゼロ持続(3年生以下)、全国的にもレベルの高い保育内容を保護者、指導員とともにさらに向上。

2 健幸長寿・ささえ愛の小金井

- ▶ 病気になる前の予防を重視。いつまでも健康で住み続けられる小金井市に。
- ▶ 医療関係者、警察・消防、市民との連携を強化し訓練の実施などでパンデミック対策。
- ▶ 地域の見守り隊を拡充、支援し、孤独死や社会的孤立を防ぐ。
- ▶ 認知症対策、障がい者の自立支援の一つとして、空き家等を利用したグループホーム増設。
- ▶ 杉並区の例を参考として、圏域外施設も含めた特養ホーム増設。
- ▶ 女性が輝かくまちを目指し男女共同参画社会の実現。
- ▶ DV被害を含む女性総合相談を強化。

3 歩いて楽しい賑わうまち小金井

- ▶ 駅周辺のまちづくりをさらに進める。
- ▶ 市民参画の「小金井の魅力向上委員会」を立ち上げ、小金井市の文化、人財、地域活動、イベントなどの潜在力を引き出し、市民や事業者と小金井の魅力を外内に発信。「ないものねだり」よりも「あるものさがし」へのまちづくりに取り組む。
- ▶ バス停、遊歩道、野川や玉川上水沿道などに高齢者も足の不自由な方もみんなが使える「どうぞのベンチ」を設置。出会いの場、ほっとできる空間に。
- ▶ 商店会・商工会と連携した商店活性化。
- ▶ 都市農業と連携した商業施策。
- ▶ 開業・創業・起業の支援。

4 地域がいのちを守るまち小金井

- ▶ 首都直下型の大地震への備えと自主防災組織の拡充。
- ▶ 民間企業、商業施設などと協定を結び、災害時の食糧確保や安全対策実施。
- ▶ 緑と花を増やす運動と美化清掃活動を拡充し、美しいまち小金

井実現。

- ▶ 駅ホームへのホームドアやホーム柵設置を進める。
- ▶ 災害時に支援が必要な人も避難できる見守り組織構築。
- ▶ 支援や配慮が必要な人が安心して暮らせる(障がい者差別禁止)条例の制定。
- ▶ 全ての公園に非常時用の防災設備を拡充し防災拠点機能の向上。

5 湧き水と緑を守るまち小金井

- ▶ 小金井桜の保全と桜並木の延長。
- ▶ 世界NO1の雨水浸透枳の設置を拡充し、湧水の枯渇を防ぎ、野川の水量確保。他自治体へも呼びかかす。
- ▶ 市民農園や公園への転用による緑地保全や市民参加による公園整備を行い市民活動の活性化と公園再生を進める。
- ▶ 省エネと再エネ拡充により環境不可の少ないまちづくりを進めます。

6 スポーツ・文化都市小金井

- ▶ オリンピック・パラリンピックへ向けて市民、団体などによる自主的なスポーツ活動支援拡充。
- ▶ 誰もが自由に文化活動に参加し、優れた芸術にふれる環境づくり、伝統芸能への支援拡充、市民の学び、体験学習支援推進。
- ▶ 健康増進へと結びつく体系的な計画策定や人材やリーダーの育成への支援。地域づくりへも結びつけ、小金井の魅力を高める。
- ▶ 歩いて楽しめる市内の散策路の整備や自転車走行空間整備で、人も自転車も安全で楽しめるまちに。
- ▶ 障がい者スポーツ拡充。

7 新しい自治体経営に挑む小金井

- ▶ 学校などの公共施設と下水道などのインフラの維持改修で年46億円が必要とされるため、増収増、経費削減、不要事業廃止で40億円規模の財源確保へ。まちづくりによる増収増と職員の適正配置と削減による人件費削減、市民参加により不要不急の事業の廃止や削減を進める。
- ▶ 増収に見合った総枠を決め部署ごとに不要な経費を削り財源を生み出す枠配分方式導入。
- ▶ 長年の懸案、市役所を決めないことには公共施設の改修や再編が進まない。まずは、市役所を蛇の目跡地に福祉施設との複合化施設で建設する。公共施設のランドデザインを策定。
- ▶ 市民参加と参画を進める自治基本条例制定へ。
- ▶ 「先送り」「場当たり的」から先取り、未来作りの市政へと意識改革、機構改革。市役所の経営体質を改善。
- ▶ 市民や有識者による経営会議などシンクタンクの設置。市民協働型市政運営に。